

令和6年度  
教育に関する事務の管理及び執行の状況の  
点検及び評価に関する報告書

(対象年度：令和5年度)

令和6年10月

普代村教育委員会

－ 目 次 －

I	はじめに	1
1	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の実施について	
2	点検及び評価の実施方法について	
3	議会への提出及び公表について	
II	令和5年度教育委員会の活動状況	2～4
1	教育長及び教育委員	
2	教育委員会会議の開催状況及び審議案件一覧	
3	教育委員会会議以外の主な活動状況	
4	教育委員会の活動状況の評価	
III	点検及び評価	5～42
IV	その他	43～45
1	第2期普代村教育大綱	
2	普代村教育委員会の点検・評価実施要領	

## 1 はじめに

### 1 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の実施について

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正され、教育委員会の責任体制の明確化を目的として、同法に「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等」が規定されました。

この規定により、平成20年4月から教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することが定められました。

### 2 点検及び評価の実施方法について

令和6年度に実施する点検及び評価は、令和5年度事業を対象とし、第2期普代村教育大綱の教育ビジョンである「普代型スクール・コミュニティ」の実現に向けて取り組んでいる3項目の基本方針及び11項目の基本施策を推進するための具体的な取組27項目の成果と課題等をまとめ、実施状況及び実績を明らかにし、今後の課題等を示すため自己評価を行いました。

その後、点検及び評価の客観性を確保するため、教育委員会が委嘱した普代村教育委員会事務点検評価委員に、ご意見、ご助言をいただきました。

普代村教育委員会事務点検評価委員及び審議経過は次のとおりです。

#### 【普代村教育委員会事務点検評価委員】

梶谷幸正氏（学校教育分野）

金子小夜氏（社会教育分野）

佐々木健一氏（地域住民代表）

#### 【審議経過】

令和6年9月10日（火曜日） 午後 1時30分～午後 4時30分

・教育委員会が行う事務事業の概略説明と質疑応答

令和6年10月21日（月曜日） 午後 1時30分～午後 2時40分

・点検評価委員からの総括的な意見

令和6年10月31日（木曜日） 午前10時00分～午前11時40分

・教育委員会10月定例会議において、報告書を審議し議決

### 3 議会への提出及び公表について

本報告書は、点検及び評価の結果をまとめたものであり、村議会へ提出するとともに公表することにより、透明性を高め、効率的・効果的な事務改善に努めたいと考えます。公表に際しては、普代村教育委員会ホームページに掲載します。

## II 令和5年度教育委員会の活動状況

### 1 教育長及び教育委員

役職名	氏名	就任年月日	任期
教育長	三船雄三	平成26年4月2日	平成26年4月2日～平成30年3月31日 平成30年4月1日～令和3年3月31日 令和3年4月1日～令和6年3月31日 令和6年4月1日～令和9年3月31日
委員 (教育長職務代理者)	中村英伸	令和3年7月1日	令和3年7月1日～令和6年9月30日 令和6年10月1日～令和10年9月30日
委員	熊谷榮子	平成8年10月1日	平成8年10月1日～平成12年9月30日 平成12年10月1日～平成16年9月30日 平成16年10月1日～平成20年9月30日 平成20年10月1日～平成24年9月30日 平成24年10月1日～平成28年9月30日 平成28年10月1日～令和1年9月30日 令和1年10月1日～令和5年9月30日 令和5年10月1日～令和9年9月30日
委員	畠山智美	令和2年1月1日	令和2年1月1日～令和4年9月30日 令和4年10月1日～令和8年9月30日
委員	大村克伸	令和5年10月1日	令和5年10月1日～令和7年9月30日

### 2 教育委員会会議の開催状況及び審議案件一覧

開催月	番号	審議案件
4月定例(4/27)	1	令和5年度要保護及び準要保護児童生徒就学援助の認定について
	2	普代村社会教育委員の委嘱について
	3	普代村学校給食センター運営委員の任命について
	4	普代村学校運営協議会委員の任命について
5月定例(5/30)	1	普代村学校運営協議会委員(追加)の任命について
6月定例(6/28)	1	普代村教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則について
	2	事務局職員の人事について
	3	普代村教育委員会委員の辞職の同意について
	報告	令和5年度普代村一般会計補正予算(第2号)について
7月定例(7/26)	1	令和6年度使用小学校及び中学校教科用図書の採択について
	報告	義務教育学校整備基本計画(概要版)について
8月定例(8/31)	報告	令和5年度普代村一般会計補正予算(第3号)について
9月定例(9/27)	報告	令和5年度普代村一般会計補正予算(第4号)について
10月定例(10/31)		※審議案件はなし

開催月	番号	審議案件
11月定例(11/30)		※審議案件はなし
12月定例(12/22)	報告	令和5年度普代村一般会計補正予算(第5号)について
	報告	令和5年度普代村一般会計補正予算(第6号)について
1月定例(1/29)	報告	令和5年度普代村一般会計補正予算(第7号)について
2月定例(2/28)	1	令和6年度普代村教育行政基本方針について
	2	県費負担教職員の令和6年度定期人事異動内申について
	3	令和6年度学校給食費の基準額について
	4	令和6年度認定こども園給食費等の基準額について
	5	令和6年度入学前支給要保護及び準要保護児童生徒就学援助の認定について
3月定例(3/29)	報告	令和5年度普代村一般会計補正予算(第8号)について
	報告	令和5年度普代村一般会計補正予算(第9号)について
	1	令和4年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価について
	2	事務局職員の人事について

### 3 教育委員会会議以外の主な活動状況

実施日	参加行事	内容
4月6日	令和5年度はまゆり子ども園入園式	式典への出席
	令和5年度普代中学校入学式	式典への出席
4月8日	令和5年度普代小学校入学式	式典への出席
5月9日～10日	東北町村教育長連絡協議会定期総会・研究大会	会議等への出席
5月14日～16日	全国町村教育長定期総会・研究大会	会議等への出席
5月22日	久慈地方教育委員会協議会定例会	会議への出席
5月25日～26日	岩手県市町村教育委員会協議会定期総会	会議への出席
7月4日	小中合同地区懇談会(移動教育委員会懇談会)	行事への出席
7月5日	義務教育学校先進地視察(大槌町立大槌学園)	研修への参加
7月6日～7日	東北六県市町村教育長・教育委員研修会	研修への参加
8月9日	義務教育学校先進地視察(紫波町立紫波東学園)	研修への参加
10月12日	岩手県教育委員会教育委員研修会	研修への参加
10月26日～27日	岩手県町村教育長部会研修会	研修への参加
11月9日～10日	東北町村教育長連絡協議会役員会	会議への出席
1月5日	普代村二十歳のつどい	式典への出席
1月25日	岩手県市町村教育委員会協議会教育長・教育委員研修会	会議への出席
2月10日	普代村教育振興運動推進大会	行事への出席

実施日	参加行事	内容
3月9日	普代中学校卒業式	式典への出席
3月16日	普代小学校卒業式	式典への出席
3月19日	はまゆり子ども園卒園式	式典への出席

#### 4 教育委員会の活動状況の評価

##### 【評価】

社会を取り巻く状況は、少子高齢化、急速な高度情報化や国際化に加え、4年に及ぶ新型コロナウイルス感染症による混乱など、教育環境においても様々な影響を及ぼしました。しかし、長引いた新型コロナウイルス感染症も令和5年度、季節性インフルエンザ同等に引き下げられ、各種の会議・研修及び行事が感染症対策を講じながら開催され、それら会議等への参加を通じて教育委員としての必要な知識を深めるなど、多岐にわたり活発に活動することができました。

##### 【今後の取組】

学校訪問、教職員との意見交換、各種会議への出席等を積極的に行い、子供たちの教育環境の改善はもとより、社会全体の教育の推進に努めます。

また、総合教育会議等を通し、首長と教育委員会が重点的に講ずるべき施策等について引き続き協議・調整を行い、次期「普代村教育大綱」の策定に向け、より一層民意を反映した教育行政の実現を目指します。

### III 点検及び評価

#### 令和6年度点検評価シート（令和5年度事務事業分）一覧

普代村教育大綱に基づく施策・事業	自己評価	委員評価	今後の方針
<b>基本方針1 健康な体・豊かな心を育む就学前教育を充実する（就学前教育）</b>			
1 普代村幼・小連携教育研修会	B	B	3
2 家庭教育の充実・地域一体となった子育て支援	B	B	1
<b>基本方針2 未来を担う子どもたちの学びの環境を充実する（学校等教育）</b>			
3 普代村校長・園長会議	A	A	2
4 普代村副校長会議	A	A	2
5 普代小中学校一貫教育研究会運営委員会	A	A	1
6 普代小中学校一貫教育研究会	B	B	1
7 普代村教務主任会議	B	A	2
8 義務教育学校整備事業	A	A	2
9 普代村生徒指導連絡協議会	B	B	3
10 普代小中学校一貫教育研究会（再掲）	B	B	3
11 普代村幼・小連携教育研修会（再掲）	B	B	3
12 統合型校務支援システム導入事業	A	A	2
13 普代村教育支援委員会	B	B	3
14 特別支援教育支援員研修会	A	A	2
15 普代小中学校一貫教育研究会（再掲）	B	B	1
16 A L T の配置	A	A	2
17 児童生徒の学校検診	B	A	2
18 通学バスの運行	C	C	3
19 避難訓練の実施	B	B	3
20 安心安全な学校給食の提供	A	A	2
21 食育活動の推進	A	A	2
<b>基本方針3 誰もが学べる多様な学習環境を充実する（社会教育・体育、歴史・芸術文化、男女共同参画）</b>			
22 家庭教育力の向上	B	B	3
23 普代村教育振興運動	B	B	3
24 普代村学習塾	B	B	2
25 放課後の子ども教室	B	B	3
26 学校と地域の協働推進事業	A	A	2
27 生涯学習社会の推進体制の整備	B	A	2
28 社会教育団体の育成と活動支援	B	B	3
29 図書室の運営	A	A	2
30 多様な学習機会の提供	A	A	2
31 多様な生涯スポーツの推進体制の整備	A	A	2
32 体育関連施設の整備	A	A	2
33 スポーツ教室等開催事業	B	B	3
34 各種スポーツ大会の開催	B	A	2
35 歴史、文化の振興と継承	A	A	2
36 芸術文化活動の促進	A	A	2
37 男女共同参画事業	D	D	3

**【自己評価】**

- A：概ね期待通りの成果が上がり、目標を達成できた
- B：ほぼ目標を達成できたが、改善の余地がある
- C：目標をあまり達成できなかったため、改善を要する
- D：目標を達成できなかった

**【今後の方針】**

- 1：さらに重点化する
- 2：現状のまま継続する
- 3：見直しの上、継続する
- 4：事業の縮小・休止を検討する
- 5：終了・完了

## 令和6年度点検評価シート（令和5年度事務事業分）

### 1 事業情報

事業番号	1	事業名	普代村幼・小連携教育研修会
教育大綱の位置付け	基本方針	I 健康な体・豊かな心を育む就学前教育を充実する（就学前教育）	
	主要施策	1 保育・教育内容の充実	
	取組	1-2 幼小中連携強化の促進	
事業の目的・内容	【目的】	子ども園・小学校の連携を図ることにより、生涯にわたって人間形成の基礎を培う乳・幼児期から児童期までの保育・教育に関わる研修を深め、保育士、教員の指導力の向上に資する。	
	【内容】	(1) 第1学年の授業参観及び研究協議 (2) 年長クラスの保育参観及び講義・協議（県北教育事務所事業「小学校低学年教育研修会」と抱き合わせ開催）	

### 2 自己評価

成果	<p>子ども園・小学校それぞれの先生方が、相互に授業または保育を参観し合うことで、子どもの発達や学び、成長の様子についての理解を深めることができた。</p> <p>授業後の協議では、指導・支援する際の工夫を交流し、今後生かしていきたい点を共有することができた。また、「架け橋期のカリキュラム」について、現在あるものを見直し、再編成することの必要性を確認できた。</p>		
課題	<p>国や県で示している「幼児期の教育の充実」と「円滑な幼小接続」の大切さについての理解を、より一層深められるような研修が今後も必要である。一部の教職員だけではなく、園全体・学校全体での共通理解を図った上で取り組めるように働きかけたい。</p>		
<table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>自己評価</td> <td><b>B</b></td> </tr> </table>		自己評価	<b>B</b>
自己評価	<b>B</b>		

### 3 点検評価委員の意見等

意見等	<p>事業の目的及び内容に沿って実施されており、概ね目標を達成している。対象者のニーズ把握や行事内容・周知方法の改善に努めていただきたい。自己評価「B」は妥当であり、委員評価も「B」とする。</p>		
<table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>委員評価</td> <td><b>B</b></td> </tr> </table>		委員評価	<b>B</b>
委員評価	<b>B</b>		

### 4 今後の取組及び方針

今後の取組	<p>研修者のニーズを把握するとともに、「幼児期の教育の充実」と「円滑な幼小接続」の大切さについての理解を深められるよう研修会を実施する。</p>		
<table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>方針</td> <td><b>3</b></td> </tr> </table>		方針	<b>3</b>
方針	<b>3</b>		



## 令和6年度点検評価シート（令和5年度事務事業分）

### 1 事業情報

事業番号	2	事業名	家庭教育の充実・地域一体となった子育て支援
教育大綱の位置付け	基本方針	1 健康な体・豊かな心を育む就学前教育を充実する（就学前教育）	
	主要施策	2 家庭や地域の教育力の向上	
	取組	1-1、1-2 家庭教育の充実・地域一体となった子育て支援	
事業の目的・内容	【目的】	子どもの発達に応じた親への学習機会を提供するとともに、子育て機関の連携と親子の活動機会を提供する。また、子育て世帯の働きやすい環境づくりを推進する。	
	【内容】	(1) はまゆり子ども園の保護者を対象に家庭教育支援セミナーを開催する。 (2) はまゆり子ども園に子育て支援室を併設し、子育て相談や入園に向けた親子利用、一時預かり等を実施する。	

### 2 自己評価

成果	<p>家庭教育支援セミナーとして、保育参観の際に親子ふれあい遊びを実施した。親子（参加者35名）で共に楽しむふれあい遊びを通じて、年齢に応じた過ごし方や遊び方を学ぶ機会となった。</p> <p>子育て支援室事業の実績は、親子利用延べ333人、一時預かり延べ15人となった。</p>		
課題	<p>家庭教育セミナーは主に乳・幼児親子を対象としているが、各年齢に応じ、ニーズを確認した上での開催の検討が必要である。また、子育て支援室の利用促進につながるよう、行事内容や周知方法の改善も必要である。</p>		
<table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>自己評価</td> <td><b>B</b></td> </tr> </table>		自己評価	<b>B</b>
自己評価	<b>B</b>		

### 3 点検評価委員の意見等

意見等	<p>事業の目的及び内容に沿って実施されており、概ね目標を達成している。家庭教育支援セミナーや子育て支援室事業については、アンケートや聞き取り調査などを実施し、利用者ニーズに応じた事業実施に努めていただきたい。</p> <p>自己評価「B」は妥当であり、委員評価も「B」とする。</p>		
<table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>委員評価</td> <td><b>B</b></td> </tr> </table>		委員評価	<b>B</b>
委員評価	<b>B</b>		

### 4 今後の取組及び方針

今後の取組	<p>利用者のニーズを把握するほか、はまゆり子ども園と保健センターで連携し、今の普代村の子育ての現状に即した事業内容を検討する。</p>		
<table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>方針</td> <td><b>1</b></td> </tr> </table>		方針	<b>1</b>
方針	<b>1</b>		

## 令和6年度点検評価シート（令和5年度事務事業分）

### 1 事業情報

事業番号	3	事業名	普代村校長・園長会議
教育大綱の位置付け	基本方針	Ⅱ 未来を担う子ども達の学びの環境を充実する(学校等教育)	
	主要施策	3 創造的な子ども園・学校経営の推進	
	取組	3-1 特色ある子供園・学校経営の推進	
事業の目的・内容	【目的】 普代村小・中学校、子ども園教育の今日的課題や学校教育指導事業等について協議を行い、円滑な学校運営を図る。		
	【内容】 (1) 教育委員会事業の報告（成果と課題）、村事業等の実施状況報告 (2) 月ごとの事業計画・調整 (3) 園、小・中学校の経営計画及び実施状況の報告、園児・児童生徒及び職員 の状況		

### 2 自己評価

成果	教育委員会事業を実施する際のねらいや成果と課題を、園・学校に理解していただきながら進めることができた。また、園・学校経営に係る必要事項についても共有・確認することができた。
課題	特記事項なし
<b>自己評価</b> <b>A</b>	

### 3 点検評価委員の意見等

意見等	事業の目的及び内容に沿って実施されており、目標を達成している。 自己評価「A」は妥当であり、委員評価も「A」とする。
<b>委員評価</b> <b>A</b>	

### 4 今後の取組及び方針

今後の取組	教育委員会と園・学校とが連携し、教育委員会事業や園・学校経営が円滑に行われるよう会議を開催する。
<b>方針</b> <b>2</b>	

## 令和6年度点検評価シート（令和5年度事務事業分）

### 1 事業情報

事業番号	4	事業名	普代村副校長会議
教育大綱の位置付け	基本方針	Ⅱ 未来を担う子ども達の学びの環境を充実する(学校等教育)	
	主要施策	3 創造的な子ども園・学校経営の推進	
	取組	3-1 特色ある子供園・学校経営の推進	
事業の目的・内容	【目的】 普代村小・中学校、子ども園教育の今日的課題や学校教育指導事業等について共通理解を図ることにより、校長を中心とした円滑な学校運営に資する。		
	【内容】 (1) 学校・子ども園経営上の成果と課題 (2) P T Aを中心とした地域の連携 (3) 学校教育事業計画 (4) 復興教育、学力向上、生徒指導、幼小連携・小中一貫教育等		

### 2 自己評価

成果	年度当初の校長・園長会議と抱き合わせで実施している事業であり、上記内容についての共通理解を図ることで、校長を中心とした円滑な学校経営に生かしていただくことができた。
課題	特記事項なし
<b>自己評価</b>	
<b>A</b>	

### 3 点検評価委員の意見等

意見等	事業の目的及び内容に沿って実施されており、目標を達成している。 自己評価「A」は妥当であり、委員評価も「A」とする。
<b>委員評価</b>	
<b>A</b>	

### 4 今後の取組及び方針

今後の取組	校長を中心とした円滑な学校経営に資するため、今後も校長・園長会議と抱き合わせ、4月の段階で会議を開催する。
<b>方針</b>	
<b>2</b>	

## 令和6年度点検評価シート（令和5年度事務事業分）

### 1 事業情報

事業番号	5	事業名	普代小中学校一貫教育研究会運営委員会
教育大綱の位置付け	基本方針	Ⅱ 未来を担う子ども達の学びの環境を充実する(学校等教育)	
	主要施策	3 創造的な子ども園・学校経営の推進	
	取組	3-1 特色ある子供園・学校経営の推進	
事業の目的・内容	【目的】 義務教育9年間における継続的・系統的な指導の在り方について、小・中学校教職員の研修並びに研究の交流を協働的に推進し、普代村の児童生徒の心身の成長、望ましい人間関係の構築、学力の保障に資する。		
	【内容】 (1) 普代村の児童・生徒の学力保障と小中一貫教育の推進 (小中一貫教育に係る経営等についての協議)		

### 2 自己評価

成果	小中一貫教育の推進に向けて、方向性や改善点等を協議し、一貫研の運営に生かすことができた。
課題	特記事項なし
<b>自己評価</b> <b>A</b>	

### 3 点検評価委員の意見等

意見等	事業の目的及び内容に沿って実施されており、目標を達成している。 自己評価「A」は妥当であり、委員評価も「A」とする。
<b>委員評価</b> <b>A</b>	

### 4 今後の取組及び方針

今後の取組	義務教育学校開校に向けて、小中一貫教育の方向性や改善点等について、積極的にご意見をいただけるよう会議の運営に努める。
<b>方針</b> <b>1</b>	

## 令和6年度点検評価シート（令和5年度事務事業分）

### 1 事業情報

事業番号	6	事業名	普代小中学校一貫教育研究会
教育大綱の位置付け	基本方針	Ⅱ 未来を担う子ども達の学びの環境を充実する(学校等教育)	
	主要施策	3 創造的な子ども園・学校経営の推進	
	取組	3-1 特色ある子ども園・学校経営の推進	
事業の目的・内容	【目的】 義務教育9年間における継続的・系統的な指導の在り方について、小・中学校教職員の研修並びに研究の交流を協働的に推進し、普代村の児童生徒の心身の成長、望ましい人間関係の構築、学力の保障に資する。		
	【内容】 (1) 全体会議 (2) 専門部会 (3) 小中合同授業研修会 (4) 先進校視察研修		

### 2 自己評価

成果	<p>全体会議で小中一貫研の目的や活動の方向性を小中学校の先生方と共有し、事業内容を進めることができた。</p> <p>専門部会においては、部長を中心として、各部の活動構想に基づいて活動を進めていただいた。教務部では、総合的な学習やキャリア教育の系統性の確認、乗り入れ授業を実施した。研究部では、学調結果の分析や「確かな学力育成プラン」の交流等を通して、児童生徒に身に付けたい力を共有することができた。指導部では、小中合同取組やスクールフェスタに係る取組を計画・実施し、児童生徒間の交流を生むことができた。</p> <p>小中合同授業研修会では、「校種や教科を超えて身に付けさせたい資質・能力」を研究協議の視点として取り入れ、小中の垣根を超えて指導の手立てについて協議することができた。</p> <p>また、先進校視察研修として、小中一貫教育全国シェアミーティングに参加し、品川区における実践や全国の先進的で創意工夫あふれる多様な実践を学ぶことができた。</p>
課題	<p>一貫教育の強みが最大限に活かされ、児童生徒の学びや成長につながるよう、9年間で身に付ける資質・能力の系統性をより重視した授業づくりや児童生徒交流の機会確保と質の充実を図りたい。</p> <p>また、義務教育学校開校に向けて、見通しを持って準備を進めたい。</p>

**自己評価**      **B**

### 3 点検評価委員の意見等

意見等	<p>事業の目的及び内容に沿って実施されており、概ね目標を達成している。義務教育学校開校に向けた授業づくりや児童生徒の交流機会の確保など、より一層の質の充実に努めていただきたい。</p> <p>自己評価「B」は妥当であり、委員評価も「B」とする。</p>
-----	---

**委員評価**      **B**

### 4 今後の取組及び方針

今後の取組	<p>義務教育学校開校に向けて、必要な研修や会議、児童生徒の交流等が確実に行われるよう、取組の一層の充実を図る。</p>
-------	--

**方針**      **1**

## 令和6年度点検評価シート（令和5年度事務事業分）

### 1 事業情報

事業番号	7	事業名	普代村教務主任会議
教育大綱の位置付け	基本方針	Ⅱ 未来を担う子ども達の学びの環境を充実する(学校等教育)	
	主要施策	3 創造的な子ども園・学校経営の推進	
	取組	3-1 特色ある子供園・学校経営の推進	
事業の目的・内容	【目的】 教育課程編成の状況について情報交換を行うとともに、教務主任の日常的な実践について研修し、その職責の遂行を図る。		
	【内容】 (1) 本年度の教育課程編成上の成果と課題 (2) 次年度の教育課程編成の計画について (3) 次年度の事業計画について		

### 2 自己評価

成果	子ども園・小中学校の教育課程編成・実施上の成果と課題について共有するとともに、次年度の年間計画について、園・各学校間で調整を図ることができた。また、小中学校については、次年度の教育課程編成に係る必要事項を確認することができた。
課題	年間計画について、村事業と学校行事等が重なっていることが数か所あったため、計画が確定するまでの流れや学校行事等を入れる際の考え方についても伝える必要があった。
<b>自己評価</b> <b>B</b>	

### 3 点検評価委員の意見等

意見等	事業の目的及び内容に沿って実施されており、目標を達成している。行事日程の調整については致し方ないと思われる。 自己評価は「B」であるが、委員評価を「A」とする。
<b>委員評価</b> <b>A</b>	

### 4 今後の取組及び方針

今後の取組	小中園の教務主任の共通理解のもと、適切な教育課程が編成されるよう会議を開催する。
<b>方針</b> <b>2</b>	

## 令和6年度点検評価シート（令和5年度事務事業分）

### 1 事業情報

事業番号	8	事業名	義務教育学校整備事業
教育大綱の位置付け	基本方針	Ⅱ 未来を担う子どもたちの学びの環境を充実する	
	主要施策	3 創造的な子ども園、学校経営の推進	
	取組	3-2 明るく活力ある教育環境の構築	
事業の目的・内容	<b>【目的】</b> 義務教育9年間を通じた系統的で一貫性のある教育活動を通して、児童生徒の発達段階に応じた学習指導や生活指導を行い、本村の子どもたちの個性や能力をより伸ばすことができる環境を整備するため、義務教育学校（小中一貫教育学校）の建設を行う。		
	<b>【内容】</b> 令和9年度を開校予定とし、下記の施設整備スケジュールを進める。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本計画策定及び基本設計作成 R5.5～R5.9</li> <li>・実施設計作成 R5.12～R6.10（予定）</li> <li>・建設工事 R7.7～R8.12（予定）</li> <li>・供用開始 R9.4～（予定）</li> </ul>		

### 2 自己評価

成果	令和5年度に予定していた事業については、小・中学校や設計業者、庁内検討組織などとの適時の協議・調整を行い、施設整備スケジュール通りに事業を進めることができた。		
課題	小・中学校や設計業者、庁内検討組織などとの連携をより一層強化し、円滑な業務遂行に取り組み、施設整備スケジュールに沿った事業の進捗を図る。		
<table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>自己評価</td> <td>A</td> </tr> </table>		自己評価	A
自己評価	A		

### 3 点検評価委員の意見等

意見等	事業の目的及び内容に沿って実施されており、目標を達成している。 自己評価「A」は妥当であり、委員評価も「A」とする。		
<table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>委員評価</td> <td>A</td> </tr> </table>		委員評価	A
委員評価	A		

### 4 今後の取組及び方針

今後の取組	早めの着手を心掛け計画に遅れがないよう、開校準備もあわせて進めていく。		
<table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>方針</td> <td>2</td> </tr> </table>		方針	2
方針	2		

## 令和6年度点検評価シート（令和5年度事務事業分）

### 1 事業情報

事業番号	9	事業名	普代村生徒指導連絡協議会
教育大綱の位置付け	基本方針	Ⅱ 未来を担う子ども達の学びの環境を充実する(学校等教育)	
	主要施策	3 創造的な子ども園・学校経営の推進	
	取組	3-2 明るく活力ある教育環境の構築	
事業の目的・内容	【目的】	普代村の児童生徒の健全育成を目標に、村内各小中学校、村外高校、関係機関及び地域社会との連携をとり、生徒指導を全体的、総合的に推進し、その充実強化を図る。	
	【内容】	小・中・高の生徒指導の推進とその連携及び健全育成のための情報交換及び協議	

### 2 自己評価

成果	<p>各校における生徒指導の問題や対応の在り方について、情報共有を図ることができた。また、村外高校や関係機関からも情報提供をいただき、本村及び久慈地域内の児童生徒の実態や生徒指導の実際について共通理解を図ることができた。</p> <p>環境面については、補助金を活用し、新入学児童用のクマ鈴や校地内の夜間照明機器、校内教育支援センター設置に係る必要物品等を購入し、整備に努めた。</p>		
課題	<p>スクールガード事業への支援方法を検討したい。(R4年度はジャンパーを購入したとのことだが、物品購入以外の支援方法があればよい。)</p> <p>また、生徒指導の充実に向けた研修会があってもよいのではないかと考える。例えば、不登校対策やいじめへの組織的な対応、発達指示的な生徒指導についてなど。</p>		
<table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>自己評価</td> <td><b>B</b></td> </tr> </table>		自己評価	<b>B</b>
自己評価	<b>B</b>		

### 3 点検評価委員の意見等

意見等	<p>事業の目的及び内容に沿って実施されており、概ね目標を達成している。</p> <p>スクールガード事業への支援や生徒指導の充実に向けた研修会の開催については、具体検討を進め、次年度以降の実現に向け取り組んでいただきたい。</p> <p>自己評価「B」は妥当であり、委員評価も「B」とする。</p>		
<table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>委員評価</td> <td><b>B</b></td> </tr> </table>		委員評価	<b>B</b>
委員評価	<b>B</b>		

### 4 今後の取組及び方針

今後の取組	<p>スクールガード事業への支援や生徒指導の充実に向けた研修のあり方について、具体的に検討していく。</p>		
<table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>方針</td> <td><b>3</b></td> </tr> </table>		方針	<b>3</b>
方針	<b>3</b>		



## 令和6年度点検評価シート（令和5年度事務事業分）

### 1 事業情報

事業番号	10	事業名	普代小中学校一貫教育研究会（再掲）
教育大綱の位置付け	基本方針	Ⅱ 未来を担う子ども達の学びの環境を充実する（学校等教育）	
	主要施策	3 創造的な子ども園・学校経営の推進	
	取組	3-3 思いやりの心を育てる教育指導の充実	
事業の目的・内容	【目的】 義務教育9年間における継続的・系統的な指導の在り方について、小・中学校教職員の研修並びに研究の交流を協働的に推進し、普代村の児童生徒の心身の成長、望ましい人間関係の構築、学力の保障に資する。		
	【内容】 (1) hyper-QU（学級満足度尺度）の実施 (2) 道徳科のカリキュラムの見直し		

### 2 自己評価

成果	<p>小中学校において、年二回、hyper-QUを実施し、児童生徒理解や学級づくりに役立てていただいている。</p> <p>また、道徳科のカリキュラムについて、継続的・系統的な指導の観点から見直しを行い、重点項目等を確認することができた。</p>		
課題	<p>hyper-QUを実施した後、各学校内でどの程度活用されているのかを確認し、必要であれば、有効活用のための研修等を実施していただけるとよう働きかける。</p>		
<table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>自己評価</td> <td style="text-align: center;"><b>B</b></td> </tr> </table>		自己評価	<b>B</b>
自己評価	<b>B</b>		

### 3 点検評価委員の意見等

意見等	<p>事業の目的及び内容に沿って実施されており、概ね目標を達成している。</p> <p>hyper-QU実施後の活用については、各学校と協議・調整の上、事業効果の発現に取り組んでいただきたい。</p> <p>自己評価「B」は妥当であり、委員評価も「B」とする。</p>		
<table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>委員評価</td> <td style="text-align: center;"><b>B</b></td> </tr> </table>		委員評価	<b>B</b>
委員評価	<b>B</b>		

### 4 今後の取組及び方針

今後の取組	<p>hyper-QU実施後の活用について、各学校に働きかけ、有効に活用されるようにする。また、道徳科のカリキュラムについては、見直しを継続する。</p>		
<table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>方針</td> <td style="text-align: center;"><b>3</b></td> </tr> </table>		方針	<b>3</b>
方針	<b>3</b>		

## 令和6年度点検評価シート（令和5年度事務事業分）

### 1 事業情報

事業番号	11	事業名	普代村幼・小連携教育研修会（再掲）
教育大綱の位置付け	基本方針	Ⅱ 未来を担う子ども達の学びの環境を充実する（学校等教育）	
	主要施策	4 保育士・教職員の資質の向上	
	取組	4-1 幼小中連携の促進 4-2 指導力・授業力の向上	
事業の目的・内容	【目的】	子ども園・小学校の連携を図ることにより、生涯にわたって人間形成の基礎を培う乳・幼児期から児童期までの保育・教育に関わる研修を深め、保育士、教員の指導力の向上に資する。	
	【内容】	(1) 第1学年の授業参観及び研究協議 (2) 年長クラスの保育参観及び講義・協議（県北教育事務所事業「小学校低学年教育研修会」と抱き合わせ開催）	

### 2 自己評価

成果	<p>子ども園・小学校それぞれの先生方が、相互に授業または保育を参観し合うことで、子どもの発達や学び、成長の様子についての理解を深めることができた。</p> <p>授業後の協議では、指導・支援する際の工夫を交流し、今後生かしていきたい点を共有することができた。また、「架け橋期のカリキュラム」について、現在あるものを見直し、再編成することの必要性を確認できた。</p>		
課題	<p>国や県で示している「幼児期の教育の充実」と「円滑な幼小接続」の大切さについての理解を、より一層深められるような研修が今後も必要である。一部の教職員だけではなく、園全体・学校全体での共通理解を図った上で取り組めるように働きかけたい。</p>		
<table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>自己評価</td> <td><b>B</b></td> </tr> </table>		自己評価	<b>B</b>
自己評価	<b>B</b>		

### 3 点検評価委員の意見等

意見等	<p>事業の目的及び内容に沿って実施されており、概ね目標を達成している。</p> <p>幼児期の教育の充実等については、園・学校全体での共通理解に取り組んでいただきたい。</p> <p>自己評価「B」は妥当であり、委員評価も「B」とする。</p>		
<table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>委員評価</td> <td><b>B</b></td> </tr> </table>		委員評価	<b>B</b>
委員評価	<b>B</b>		

### 4 今後の取組及び方針

今後の取組	<p>研修者のニーズを把握するとともに、「幼児期の教育の充実」と「円滑な幼小接続」の大切さについての理解を深められるよう研修会を実施する。</p>		
<table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>方針</td> <td><b>3</b></td> </tr> </table>		方針	<b>3</b>
方針	<b>3</b>		

## 令和6年度点検評価シート（令和5年度事務事業分）

### 1 事業情報

事業番号	12	事業名	統合型校務支援システム導入事業
教育大綱の位置付け	基本方針	Ⅱ 未来を担う子ども達の学びの環境を充実する	
	主要施策	4 保育士・教職員の資質の向上	
	取組	4-2 指導力・授業力の向上	
事業の目的・内容	【目的】	児童生徒の学力や日常的な行動、心身の健康状態などの多様な情報を、校内での一元管理・共有・発信・受信することにより、データ分析等により指導改善等に役立て、教育の質的な向上を図る	
	【内容】	「手書き」や「手作業」が多い学校現場の業務改善を図る観点でシステム導入は有効であり、成績のデータを通知票や指導要録に自動的に引き継ぐことや、転記に係る時間や転記ミスを著しく減少させることができ、業務の正確性を向上させることができる。また、県内同じシステムを利用することで、教職員の異動の際に係る業務の引き継ぎや理解に要する時間の短縮、教職員の作業的負担や精神的負担を軽減することができる。	

### 2 自己評価

成果	小学校、中学校ともに令和6年4月運用に向け環境整備を行い完了した。
課題	特記事項なし
<b>自己評価</b>	
<b>A</b>	

### 3 点検評価委員の意見等

意見等	事業の目的及び内容に沿って実施されており、目標を達成している。 自己評価「A」は妥当であり、委員評価も「A」とする。
<b>委員評価</b>	
<b>A</b>	

### 4 今後の取組及び方針

今後の取組	教員全員が使用することができるよう操作方法等の理解を深める。
<b>方針</b>	
<b>2</b>	

## 令和6年度点検評価シート（令和5年度事務事業分）

### 1 事業情報

事業番号	13	事業名	普代村教育支援委員会
教育大綱の位置付け	基本方針	Ⅱ 未来を担う子ども達の学びの環境を充実する(学校等教育)	
	主要施策	5 特別支援教育の推進	
	取組	5-1 特別に支援が必要な幼児・児童・生徒への適切な支援	
事業の目的・内容	【目的】 村内の小・中学校の児童生徒及び就学児にとっての適切な学びの場を検討し、特別教育支援の推進を図る。		
	【内容】 (1) 支援を要する児童生徒の状況と支援の在り方について (2) 在学児童生徒及び就学時の適切な学びの場と支援の在り方について (3) 個別の教育支援計画の確認		

### 2 自己評価

成果	<p>支援を要する児童生徒の状況や支援の在り方について、園・学校と情報を共有することができた。また、学びの場の検討に関わっては、就学時健診や個別検査の結果に基づいて支援案を提案することができた。</p> <p>個別の教育支援計画については、作成に係る留意点等を確認し、園・各学校で保護者との連携を図りながら作成していただいている。</p>		
課題	<p>調査員の確保が難しい。村内で人材育成を図ることができれば理想的であるが、場合によっては、外部へ委託する等、持続可能な方法を検討する必要がある。</p> <p>教育支援案を出した後の、学校や保護者への通知の仕方について、確認・整理する必要がある。</p> <p>文書や資料等の文言が一部、現在の特別支援教育の考え方に合っていないものがあるので、修正をしていく必要がある。</p>		
<table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>自己評価</td> <td><b>B</b></td> </tr> </table>		自己評価	<b>B</b>
自己評価	<b>B</b>		

### 3 点検評価委員の意見等

意見等	<p>事業の目的及び内容に沿って実施されており、概ね目標を達成している。対象児童も増えていることから調査員の確保については早急な対策が必要と思われる。</p> <p>自己評価「B」は妥当であり、委員評価も「B」とする。</p>		
<table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>委員評価</td> <td><b>B</b></td> </tr> </table>		委員評価	<b>B</b>
委員評価	<b>B</b>		

### 4 今後の取組及び方針

今後の取組	<p>児童生徒にとって適切な支援案となるよう会議を開催していく。また、調査員の確保については、引き続き検討を重ねる。</p>		
<table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>方針</td> <td><b>3</b></td> </tr> </table>		方針	<b>3</b>
方針	<b>3</b>		

## 令和6年度点検評価シート（令和5年度事務事業分）

### 1 事業情報

事業番号	14	事業名	特別支援教育支援員研修会
教育大綱の位置付け	基本方針	Ⅱ 未来を担う子ども達の学びの環境を充実する(学校等教育)	
	主要施策	5 特別支援教育の推進	
	取組	5-2 特別支援教育の充実	
事業の目的・内容	【目的】 特別支援教育支援員の職員に対して、より具体的な支援方法等を研修する機会を提供することで、資質向上を図る。		
	【内容】 (1) 特別支援学級等の授業参観 (2) 各種障がいについての基礎的な知識 (3) 場面に応じた具体的な支援の方法		

### 2 自己評価

成果	特別支援教育エリアコーディネーターによる講義を通して、支援の在り方や全体への配慮、担任との連携などについて具体的に学ぶことができた。また、拓陽支援学校の先生方から、支援員一人一人の抱える課題についてもご助言いただくことができた。
課題	支援員だけでなく、小中学校教職員にも聞いていただきたい内容であった。研修内容の周知を行いたい。
<b>自己評価</b> <b>A</b>	

### 3 点検評価委員の意見等

意見等	事業の目的及び内容に沿って実施されており、目標を達成している。自己評価「A」は妥当であり、委員評価も「A」とする。
<b>委員評価</b> <b>A</b>	

### 4 今後の取組及び方針

今後の取組	研修内容を小中学校職員にも周知するなどして、児童生徒への適切な支援が行われるようにする。
<b>方針</b> <b>2</b>	

## 令和6年度点検評価シート（令和5年度事務事業分）

### 1 事業情報

事業番号	15	事業名	普代小中学校一貫教育研究会（再掲）
教育大綱の位置付け	基本方針	Ⅱ 未来を担う子ども達の学びの環境を充実する（学校等教育）	
	主要施策	6 児童生徒の健全な育成	
	取組	6-1 育ちあう子どもの育成 6-2 助けあう子どもの育成 6-3 認めあう子どもの育成	
事業の目的・内容	【目的】	義務教育9年間における継続的・系統的な指導の在り方について、小・中学校教職員の研修並びに研究の交流を協働的に推進し、普代村の児童生徒の心身の成長、望ましい人間関係の構築、学力の保障に資する。	
	【内容】	(1) 普代村の児童生徒の学力保障と小中一貫教育の推進 (2) 道徳教育の充実に向けた支援 (3) キャリア教育の推進	

### 2 自己評価

成果	<p>全体会議で小中一貫研の目的や活動の方向性を小中学校の先生方と共有し、事業内容を進めることができた。</p> <p>専門部会においては、部長を中心として、各部の活動構想に基づいて活動を進めていただいた。教務部では、総合的な学習やキャリア教育の系統性の確認、乗り入れ授業を実施した。研究部では、学調結果の分析や「確かな学力育成プラン」の交流等を通して、児童生徒に身に付けたい力を共有することができた。指導部では、小中合同取組やスクールフェスタに係る取組を計画・実施し、児童生徒間の交流を生むことができた。</p> <p>小中合同授業研修会では、「校種や教科を超えて身に付けさせたい資質・能力」を研究協議の視点として取り入れ、小中の垣根を超えて指導の手立てについて協議することができた。</p>		
課題	<p>一貫教育の強みが最大限に活かされ、児童生徒の学びや成長につながるよう、9年間で身に付ける資質・能力の系統性をより重視した授業づくりや児童生徒交流の機会確保と質の充実を図りたい。</p> <p>また、義務教育学校開校に向けて、見通しを持って準備を進めたい。</p>		
<table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>自己評価</td> <td style="text-align: center;"><b>B</b></td> </tr> </table>		自己評価	<b>B</b>
自己評価	<b>B</b>		

### 3 点検評価委員の意見等

意見等	<p>事業の目的及び内容に沿って実施されており、概ね目標を達成している。義務教育学校開校に向けた授業づくりや児童生徒の交流機会の確保など、より一層の質の充実に努めていただきたい。</p> <p>自己評価「B」は妥当であり、委員評価も「B」とする。</p>		
<table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>委員評価</td> <td style="text-align: center;"><b>B</b></td> </tr> </table>		委員評価	<b>B</b>
委員評価	<b>B</b>		

### 4 今後の取組及び方針

今後の取組	義務教育学校開校に向けて、必要な研修や会議、児童生徒の交流等が確実に行われるよう、取組の一層の充実を図る。		
<table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>方針</td> <td style="text-align: center;"><b>1</b></td> </tr> </table>		方針	<b>1</b>
方針	<b>1</b>		

## 令和6年度点検評価シート（令和5年度事務事業分）

### 1 事業情報

事業番号	16	事業名	ALTの配置
教育大綱の位置付け	基本方針	II 未来を担う子ども達の学びの環境を充実する(学校等教育)	
	主要施策	6 児童生徒の健全な育成	
	取組	6-1 育ちあう子どもの育成	
事業の目的・内容	【目的】 ・外国語活動及び英語科授業の充実により国際理解教育の推進を図る。		
	【内容】 子ども園、小・中学校へのALT配置		

### 2 自己評価

成果	園・各校でALTと連携した活動や授業が展開され、異文化への理解を深めた。小・中学校を対象に行った、ALTプログラムに関するアンケートでは、6項目すべて100%の満足度であった。
課題	特記事項なし
<b>自己評価</b> <b>A</b>	

### 3 点検評価委員の意見等

意見等	事業の目的及び内容に沿って実施されており、目標を達成している。 自己評価「A」は妥当であり、委員評価も「A」とする。
<b>委員評価</b> <b>A</b>	

### 4 今後の取組及び方針

今後の取組	今後も園・各学校にALTを配置する。
<b>方針</b> <b>2</b>	

## 令和6年度点検評価シート（令和5年度事務事業分）

### 1 事業情報

事業番号	17	事業名	児童生徒の学校検診
教育大綱の位置付け	基本方針	Ⅱ 未来を担う子ども達の学びの環境を充実する(学校等教育)	
	主要施策	6 児童生徒の健全な育成	
	取組	6-1 育ちあう子どもの育成	
事業の目的・内容	【目的】	児童生徒の健康状態を定期的にチェックすることで、健康問題の早期発見と健康に対する意識向上を図る。	
	【内容】	学校医や岩手医科大学、耳鼻科専門医に委託し、内科検診等全9種類の検診を行う。また、教職員検診についても予防医学協会と連携をしながら学校全体の健康を保つ。	

### 2 自己評価

成果	前年度（R4）から検診日程を調整し、検診前には学校医とも連絡を取りながら契約の手続き等を進めた。また、必要な器具及び書類についても事前の準備を行っていたことから、特段の問題等も無く、全ての検診を終えることができた。
課題	予防医学協会の都合により、教職員検診の日程が令和5年度に入ってからとなったため、他市町村の教職員名簿の作成等が検診間際になった。今後は市町村担当者との連携を図りながら、教職員の受入れ態勢を整える。
自己評価	
<b>B</b>	

### 3 点検評価委員の意見等

意見等	事業の目的及び内容に沿って実施されており、目標を達成している。児童生徒の検診については特段の問題はなく、課題は市町村の教職員に関することである。 自己評価は「B」であるが、委員評価は「A」とする。
委員評価	
<b>A</b>	

### 4 今後の取組及び方針

今後の取組	来年度は近隣市町村担当者と早期に連絡を取り合い、検診日程の確認と受入態勢の事前準備を行う。
方針	
<b>2</b>	



## 令和6年度点検評価シート（令和5年度事務事業分）

### 1 事業情報

事業番号	18	事業名	通学バスの運行
教育大綱の位置付け	基本方針	Ⅱ 未来を担う子ども達の学びの環境を充実する(学校等教育)	
	主要施策	6 児童生徒の健全な育成	
	取組	6-2 助け合う子どもの育成	
事業の目的・内容	【目的】	登下校時の事故を防ぎ、子どもたちの安全を確保する。また、スクールバスの安全確保に求められる安全管理の徹底を図る。	
	【内容】	黒崎・太田名部方面、白井・堀内方面、力持・鳥居・茂市・萩牛方面に計4台のスクールバスを運行し、児童生徒(65人)の遠距離通学条件の緩和を図る。また、老朽化が進んでいたスクールバス1台を更新するとともに、義務化された置き去り防止支援装置を全車両に設置する。	

### 2 自己評価

成果	小・中学校、子ども園及びバス運転業務委託業者との連携を図りながら、児童生徒の安全確保と計画的運行に取り組んだ。また、老朽化が進んでいたバスの更新(1台)については年度内に事業を完了し、置き去り防止支援装置も全車両に年度早期の設置を行った。		
課題	<p>スクールバス1台について継続検査を実施せず、自動車検査証の有効期限を過ぎた状態で車両を運行していた。このような事態を招いたことを深く反省し、二度とこのような事態を起こさないよう、徹底管理し再発防止に努めなければならない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年2月29日(木)判明 ※バス運転業務委託業者からの報告</li> <li>・車検有効期限後の車両使用は、走行日数2日(走行回数4回)、乗車人数延べ32名</li> </ul>		
<table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>自己評価</td> <td style="text-align: center;"><b>C</b></td> </tr> </table>		自己評価	<b>C</b>
自己評価	<b>C</b>		

### 3 点検評価委員の意見等

意見等	<p>今回の事案は、村民の信頼を損ねるとともに、スクールバスを利用する児童生徒及び保護者に大変な不安を与えるものである。二度と同様の事態が生じないように、全庁的管理体制の見直しと再発防止の徹底を強く求める。</p> <p>自己評価「C」は妥当であり、委員評価も「C」とする。</p>		
<table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>委員評価</td> <td style="text-align: center;"><b>C</b></td> </tr> </table>		委員評価	<b>C</b>
委員評価	<b>C</b>		

### 4 今後の取組及び方針

今後の取組	継続検査については、各スクールバスの点検月初めに業者と日程調整を行い、それぞれが情報共有の上安全なバス運行に努める。		
<table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>方針</td> <td style="text-align: center;"><b>3</b></td> </tr> </table>		方針	<b>3</b>
方針	<b>3</b>		

## 令和6年度点検評価シート（令和5年度事務事業分）

### 1 事業情報

事業番号	19	事業名	避難訓練の実施
教育大綱の位置付け	基本方針	Ⅱ 未来を担う子ども達の学びの環境を充実する(学校等教育)	
	主要施策	6 児童生徒の健全な育成	
	取組	6-2 助け合う子どもの育成	
事業の目的・内容	【目的】	校内生活時における地震や津波災害時の避難方法を知ることと、集団行動能力を高めることを目的とする。また、緊急時の対応について、共通理解を図るとともに、問題点を洗い出し今後の対応の参考とする。	
	【内容】	4月…小中合同避難訓練を実施（津波を想定した訓練で中学校裏から三陸沿岸道路脇広場へ避難） 9月…普代村の総合防災訓練に合わせて、小・中学校それぞれ地震津波を想定した訓練を実施（総合防災訓練後は、小学校は保護者への引き渡し訓練を実施し、中学校は防災備蓄倉庫の見学と応急手当訓練を実施）	

### 2 自己評価

成果	児童生徒の避難経路及び集合場所の確認はもちろんのこと、登下校時の避難や教職員の対応についても共通確認することができた。
課題	9月の村総合防災訓練では、学校と防災担当との調整で行き違いがあったことから、打合せの段階から教育委員会事務局が調整に入る必要がある。
<b>自己評価</b> <b>B</b>	

### 3 点検評価委員の意見等

意見等	事業の目的及び内容に沿って実施されており、概ね目標を達成している。防災担当との調整については、訓練計画の立案段階から教育委員会が入り、訓練目的やそれぞれの狙いなど共有した上で実効性あるものとしていただきたい。 自己評価「B」は妥当であり、委員評価も「B」とする。
<b>委員評価</b> <b>B</b>	

### 4 今後の取組及び方針

今後の取組	学校からも9月防災訓練の聞き取りを行い、小中の反省点等取りまとめたうえで防災担当へ報告し、次年度以降の防災訓練に生かす。
<b>方針</b> <b>3</b>	

## 令和6年度点検評価シート（令和5年度事務事業分）

### 1 事業情報

事業番号	20	事業名	安心安全な学校給食の提供
教育大綱の位置付け	基本方針	Ⅱ 未来を担う子ども達の学びの環境を充実する(学校等教育)	
	主要施策	6 児童生徒の健全な育成	
	取組	6-3 認め合う子どもの育成	
事業の目的・内容	【目的】	児童生徒の適切な栄養摂取による健康の保持増進を図るとともに、経済的な困難から子どもの健康や学習機会が損なわれないよう、給食費の無償化を実施する。	
	【内容】	バランスのとれた献立作成とおいしい給食を提供することにより、児童生徒の健康な体づくりを目指す。また、衛生管理の行き届いた安心安全な給食を提供する。	

### 2 自己評価

成果	<p>基準を概ね満たした給食を提供することができた。また、教科等の学習内容に関連した給食を提供し、学校教育との連携を深めることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 普代小 185 日（児童 14,013 食、無償化に要する事業費 4,063,770 円）</li> <li>・ 普代中 184 日（生徒 8,209 食、無償化に要する事業費 2,626,880 円）</li> </ul>	
課題	特記事項なし	
自己評価		A

### 3 点検評価委員の意見等

意見等	<p>事業の目的及び内容に沿って実施されており、目標を達成している。 自己評価「A」は妥当であり、委員評価も「A」とする。</p>	
委員評価		A

### 4 今後の取組及び方針

今後の取組	<p>地場産品を活用した新メニューなども取り入れ、児童生徒にとって好ましい給食となるよう、より一層学校との連携を図る。</p>	
方針		2

## 令和6年度点検評価シート（令和5年度事務事業分）

### 1 事業情報

事業番号	21	事業名	食育活動の推進
教育大綱の位置付け	基本方針	Ⅱ 未来を担う子ども達の学びの環境を充実する(学校等教育)	
	主要施策	6 児童生徒の健全な育成	
	取組	6-3 認め合う子どもの育成	
事業の目的・内容	【目的】 食事について、正しい理解や食への興味関心を深め、健全な食生活を実践できる児童生徒の育成を図る。		
	【内容】 担任、養護教諭等と連携したチームティーチング(T,T)による食育授業を行う。		

### 2 自己評価

成果	小・中学校全てのクラスで担任と事前打ち合わせを行い、連携してチームティーチング(T,T)による食に関する授業を行うことができた。
課題	特記事項なし
自己評価	
A	

### 3 点検評価委員の意見等

意見等	事業の目的及び内容に沿って実施されており、目標を達成している。 自己評価「A」は妥当であり、委員評価も「A」とする。
委員評価	
A	

### 4 今後の取組及び方針

今後の取組	特別活動だけではなく、教科での食に関する指導や肥満傾向の児童生徒に対して個別指導等も行っていきたい。また、児童生徒にとって更に効果的な指導となるよう、より一層学校との連携を強めていきたい。
方針	
2	

## 令和6年度点検評価シート（令和5年度事務事業分）

### 1 事業情報

事業番号	22	事業名	家庭教育力の向上
教育大綱の位置付け	基本方針	Ⅲ 誰もが学べる多様な学習環境を充実する（社会教育・体育、歴史・芸術文化、男女共同参画）	
	主要施策	7 社会教育と学校教育の連携推進	
	取組	7-1 家庭教育力の向上	
事業の目的・内容	【目的】 保護者等が家庭で直接子どもに還元できるスキルを身に付けることで家庭教育を充実させるための講演会や、他市町村との交流、地域の伝統文化へのふれあいを通じて家庭における教育力の向上を図る。		
	【内容】 (1) はまゆり子ども園の保護者を対象に家庭教育支援セミナーを開催する。 (2) 普代小学校での子ども神楽宿、親子を対象とした地域文化学講座を開催する。 (3) 友好町村である矢巾町との児童交流事業を実施する。		

### 2 自己評価

成果	普代小学校子ども神楽宿には、普代小学校4学年児童17人、保護者3人の参加があり、神楽宿の準備から直会までの一連を学ぶことができた。また、矢巾町交流事業では、矢巾町の児童15人、普代村の児童7人の参加があり、海で遊ぶ機会の少ない矢巾町の子ども達は、思い切り遊ぶことができた。ケガや熱中症などもなく無事に終わることができた。
課題	子ども神楽宿では周知が不足しており、保護者の参加が少なかった。 矢巾町交流事業の地引網体験では魚が少なく、矢巾町の皆さんへのお土産分しか用意することができなかった。
自己評価 <b>B</b>	

### 3 点検評価委員の意見等

意見等	事業の目的及び内容に沿って実施されており、概ね目標を達成している。 人口減少の加速化、特に子供の数は急激に減少していることから、対象者のニーズを的確に捉え、十分な期間を確保した上で効果的な周知に努めていただきたい。 自己評価「B」は妥当であり、委員評価も「B」とする。
委員評価 <b>B</b>	

### 4 今後の取組及び方針

今後の取組	子ども神楽宿は、保護者と地域を巻き込んだ開催方法となるよう小学校と協議する。 また、矢巾町との交流事業は、相互理解を深められるような内容へ改善するために児童のニーズや提案を収集する。
方針 <b>3</b>	

## 令和6年度点検評価シート（令和5年度事務事業分）

### 1 事業情報

事業番号	23	事業名	普代村教育振興運動
教育大綱の位置付け	基本方針	Ⅲ 誰もが学べる多様な学習環境を充実する（社会教育・体育、歴史・芸術文化、男女共同参画）	
	主要施策	7 社会教育と学校教育の連携推進	
	取組	7-2 子どもを育む地域教育力の向上	
事業の目的・内容	【目的】	普代村教育振興運動推進体制の充実と各実践班組織の強化により、より効果的な活動展開を図ることで、「各地区での子育て」から「村全全体での子育て」へと展開していくことを目的とする。	
	【内容】	全県共通課題に沿った実践班によるリーダー研修会と実践班の取組を集約する推進大会を開催する。推進大会では教育振興運動推進委員会表彰を行う。	

### 2 自己評価

成果	<p>リーダー研修会では2回合わせて90人の参加があった。教育振興運動の基本概要や他市町村の取り組み事例について学ぶことができた。子どもと保護者が一緒に協議できる貴重な場であり、生活と学びについて向き合うことができた。</p> <p>推進大会には約50人の参加があり、1年間の活動成果を発表する場となった。講演会では日本の祭事について学ぶことができ、各地区での活動の参考となった。</p>		
課題	<p>リーダー研修会には地域の方の参加が少なかった。開催方法の検討が必要。推進大会ではもっと多くの村民の前で表彰や発表ができるよう、開催方法の検討が必要。発表者はリーダー研修での発表の繰り返しになるので、リーダー研修と推進大会での内容の調整が必要。</p>		
<table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>自己評価</td> <td><b>B</b></td> </tr> </table>		自己評価	<b>B</b>
自己評価	<b>B</b>		

### 3 点検評価委員の意見等

意見等	<p>事業の目的及び内容に沿って実施されており、概ね目標を達成している。開催方法や参加者確保などに工夫、検討が必要と思われるが、類似の事業もあり、同運動が保護者等の負担にならないよう、今後の運動の在り方について、県と市町村で議論いただきたい。</p> <p>自己評価「B」は妥当であり、委員評価も「B」とする。</p>		
<table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>委員評価</td> <td><b>B</b></td> </tr> </table>		委員評価	<b>B</b>
委員評価	<b>B</b>		

### 4 今後の取組及び方針

今後の取組	<p>新しい計画で新しい全県共通課題が示されたので、これを機に子どものニーズを中心とした活動に転換できるよう事業内容を検討する。</p>		
<table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>方針</td> <td><b>3</b></td> </tr> </table>		方針	<b>3</b>
方針	<b>3</b>		

## 令和6年度点検評価シート（令和5年度事務事業分）

### 1 事業情報

事業番号	24	事業名	普代村学習塾
教育大綱の位置付け	基本方針	Ⅲ 誰もが学べる多様な学習環境を充実する（社会教育・体育、歴史・芸術文化、男女共同参画）	
	主要施策	7 社会教育と学校教育の連携推進	
	取組	7-2 子どもを育む地域教育力の向上	
事業の目的・内容	【目的】	児童・生徒の基礎学力の定着及び高校入試対策に資する。	
	【内容】	<p>学習塾運営会社(KATEKYO 学院)からプロ講師を招聘し、村内小・中学生を対象に村営学習塾を開設する。開設期間は7月から翌年3月までとし、開催計画は次のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学3～4年生、5～6年生 各20回</li> <li>・中学1、2年生 各25回</li> <li>・中学3年生 50回</li> </ul>	

### 2 自己評価

成果	<p>概ね計画通りに学習塾を開設し、受講者一人一人の学習レベルに合わせた指導・サポートを行うことができた。</p> <p>受講者は、小学生5名（対前年比△14名減）、中学生7名（±0）で、中学3年生の受講が無かったため、中学1、2年生の開催回数を増やし行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学3～4年生、5～6年生 各17回</li> <li>・中学1～2年生 1年生30回、2年生31回</li> </ul>	
課題	<p>小学生が大幅に減少したことや中学3年生の受講者が無かったことから、学校での呼び掛けや広報等活動の強化が必要である。また、受講者及び保護者へのアンケートを実施し、学習塾への要望や感想などを丁寧に聞き取りながら、塾運営の充実と学力向上を目指していきたい。</p>	
自己評価		<b>B</b>

### 3 点検評価委員の意見等

意見等	<p>事業の目的及び内容に沿って実施されており、概ね目標を達成している。児童生徒の基礎学力の定着と高校入試対策が事業の目的となっている。受講者の減少、特に中学3年生の高校入試対策は本事業の大きな柱であることから、受講者及び保護者のニーズを把握し、塾運営の充実を図っていただきたい。</p> <p>自己評価「B」は妥当であり、委員評価も「B」とする。</p>	
委員評価		<b>B</b>

### 4 今後の取組及び方針

今後の取組	<p>長期休暇（夏休み、冬休み）前に学校へ再度受講生募集のチラシを配布するとともに、村広報に記事を掲載し、事業周知と受講生確保に努める。</p>	
方針		<b>2</b>

## 令和6年度点検評価シート（令和5年度事務事業分）

### 1 事業情報

事業番号	25	事業名	放課後子ども教室
教育大綱の位置付け	基本方針	Ⅲ 誰もが学べる多様な学習環境を充実する（社会教育・体育、歴史・芸術文化、男女共同参画）	
	主要施策	7 社会教育と学校教育の連携推進	
	取組	7-2 子どもを育む地域教育力の向上	
事業の目的・内容	【目的】	<p>共働き世帯が増加し、放課後に家庭で子どもをみることが困難となっており、子どもたちの放課後の居場所が必要となっている。</p> <p>子どもたちの放課後の居場所を提供するとともに、働いている保護者の支援を行うことを目的とする。</p>	
	【内容】	<p>放課後や週末、長期休暇等に地域の方々を指導者とし、安心してスポーツや文化活動ができる居場所を子どもたちに提供する。</p>	

### 2 自己評価

成果	<p>放課後子ども教室の登録児童生徒は40人で、内延長利用申し込みは20人となっている。</p> <p>1日に20人前後の利用者があり、午後7時までの延長利用も実施し、子どもたちの放課後の居場所づくりや共働き・共育てを支える環境づくりを推進することができた。</p>		
課題	<p>小学校の長期休暇や漁業の繁忙期等はスタッフが不足する日がある。また、参加児童に個別対応が必要な場合もあるので、スタッフの増員が必要である。</p>		
<table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>自己評価</td> <td><b>B</b></td> </tr> </table>		自己評価	<b>B</b>
自己評価	<b>B</b>		

### 3 点検評価委員の意見等

意見等	<p>事業の目的及び内容に沿って実施されており、概ね目標を達成している。</p> <p>子供の数は減少しているが必要な事業である。引き続き、運営体制等について、利用者ニーズの把握に努め、安定したサービスを継続的に提供いただきたい。</p> <p>自己評価「B」は妥当であり、委員評価も「B」とする。</p>		
<table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>委員評価</td> <td><b>B</b></td> </tr> </table>		委員評価	<b>B</b>
委員評価	<b>B</b>		

### 4 今後の取組及び方針

今後の取組	<p>課題である長期休みや漁業の繁忙期、個別対応が必要な子どもへの対応のため、スタッフの増員を図るよう努めたい。また、研修会等への参加を積極的に行い、スタッフの資質向上も図りたい。</p>		
<table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>方針</td> <td><b>3</b></td> </tr> </table>		方針	<b>3</b>
方針	<b>3</b>		



## 令和6年度点検評価シート（令和5年度事務事業分）

### 1 事業情報

事業番号	26	事業名	学校と地域の協働推進事業
教育大綱の位置付け	基本方針	Ⅲ 誰もが学べる多様な学習環境を充実する（社会教育・体育、歴史・芸術文化、男女共同参画）	
	主要施策	7 社会教育と学校教育の連携推進	
	取組	7-2 子どもを育む地域教育力の向上	
事業の目的・内容	【目的】	子どもの環境は、情報化、価値の多様化も含めてどんどん変化しており、学校はこれまで以上に様々な課題を抱えている。このような状況下、地域の力を借りて学校を支援していくことが求められるようになってきている。本事業により地域全体で学校教育を支援する体制の構築を図る。また、岩手県独自の住民運動である教育振興運動と連携し、実践組織の強化と活動の活性化につなげ、更なる学校と地域との連携体制の構築を図る。	
	【内容】	地域全体で学校教育を支援し、学校と地域とをつなぐ役割として地域コーディネーターを小・中学校に各1名を配置する。	

### 2 自己評価

成果	<p>令和5年度のボランティア実績は、小・中学校合わせて延べ362人と13企業であった。地域の方々の協力により、学校における様々な活動が活性化され、地域全体で学校教育を支援することができた。</p> <p>また、学校と地域が連携することにより、子どもたちは地域の方々と触れ合う機会が増え、地域の方々はボランティアとして学校に来ることにより、学校の活動について知ることができた。</p>	
課題	特記事項なし	
<b>自己評価</b>		<b>A</b>

### 3 点検評価委員の意見等

意見等	<p>事業の目的及び内容に沿って実施されており、目標を達成している。人材確保を図り、教職員の業務負担の軽減に取り組んでいただきたい。自己評価「A」は妥当であり、委員評価も「A」とする。</p>	
<b>委員評価</b>		<b>A</b>

### 4 今後の取組及び方針

今後の取組	<p>現在、地域コーディネーターが1名で業務をしているので、小・中学校に各1名を配置できるよう努める。また、これまでどおり、地域全体で学校教育を支援し、連携体制を維持していけるよう努めたい。</p>	
<b>方針</b>		<b>2</b>

## 令和6年度点検評価シート（令和5年度事務事業分）

### 1 事業情報

事業番号	27	事業名	生涯学習社会の推進体制の整備
教育大綱の位置付け	基本方針	Ⅲ 誰もが学べる多様な学習環境を充実する（社会教育・体育、歴史・芸術文化、男女共同参画）	
	主要施策	8 生きがいづくりと多様な学習活動の振興	
	取組	8-1 生涯学習社会の推進体制の整備	
事業の目的・内容	【目的】	社会教育推進体制の構築と職員の資質向上を図る。	
	【内容】	生涯学習推進委員、社会教育委員により生涯学習施策についての協議や評価を行う。また、各種会議や研修会、講座等へ参加する。	

### 2 自己評価

成果	生涯学習推進委員会議では生涯学習プランの改定を行った。 社会教育委員会議では普代中学校七頭舞同好会の会員不足について検討を進めるよう意見が出された。（七頭舞育成会の支援において改善策を検討）
課題	特記事項なし
<b>自己評価</b> <b>B</b>	

### 3 点検評価委員の意見等

意見等	事業の目的及び内容に沿って実施されており、目標を達成している。 同好会の会員確保のために公演機会の創出・提供など、活動の魅力づくりを検討いただきたい。 自己評価は「B」であるが、委員評価は「A」とする。
<b>委員評価</b> <b>A</b>	

### 4 今後の取組及び方針

今後の取組	研修会等への参加を促進し、委員の資質向上に努める。
<b>方針</b> <b>2</b>	

## 令和6年度点検評価シート（令和5年度事務事業分）

### 1 事業情報

事業番号	28	事業名	社会教育団体の育成と活動支援
教育大綱の位置付け	基本方針	Ⅲ 誰もが学べる多様な学習環境を充実する（社会教育・体育、歴史・芸術文化、男女共同参画）	
	主要施策	8 生きがいづくりと多様な学習活動の振興	
	取組	8-2 社会教育団体の育成と活動支援	
事業の目的・内容	【目的】	各分野における団体の自主的な活動を支援することで、地域コミュニティの醸成に寄与することを目的とする。	
	【内容】	社会教育団体の育成と活動支援を行うための補助金交付事業	

### 2 自己評価

成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鶴鳥神楽保存会伝承活動補助金…200,000円</li> <li>・七頭舞育成会活動助成金…122,000円</li> <li>・芸術文化団体活動補助金…100,000円（50,000円×2団体）</li> </ul>		
課題	申請を促す案内が不十分であったため、手続きが年度末に集中してしまった。		
<table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>自己評価</td> <td><b>B</b></td> </tr> </table>		自己評価	<b>B</b>
自己評価	<b>B</b>		

### 3 点検評価委員の意見等

意見等	<p>事業の目的及び内容に沿って実施されており、概ね目標を達成している。郷土の歴史や文化、芸能等を後世に継承するため各団体は献身的に取り組んでいる。貴重な文化遺産を絶やすことなく、行政としても最大限のサポートをお願いしたい。</p> <p>自己評価「B」は妥当であり、委員評価も「B」とする。</p>		
<table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>委員評価</td> <td><b>B</b></td> </tr> </table>		委員評価	<b>B</b>
委員評価	<b>B</b>		

### 4 今後の取組及び方針

今後の取組	補助金交付だけではなく、活動内容への支援にも取り組む。		
<table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>方針</td> <td><b>3</b></td> </tr> </table>		方針	<b>3</b>
方針	<b>3</b>		

## 令和6年度点検評価シート（令和5年度事務事業分）

### 1 事業情報

事業番号	29	事業名	図書室の運営
教育大綱の位置付け	基本方針	Ⅲ 誰もが学べる多様な学習環境を充実する（社会教育・体育、歴史・芸術文化、男女共同参画）	
	主要施策	8 生きがいづくりと多様な学習活動の振興	
	取組	8-3 生涯学習推進体制の整備	
事業の目的・内容	【目的】	乳児から大人まで全ての世代の人たちの読書習慣を促進するため、図書室情報の積極的な提供と移動図書館車の利用促進を図る。	
	【内容】	定期的に図書を購入し、図書室蔵書の拡充と各種事業を計画的に展開する。 （図書室だより発行、ふだい広報での本の紹介、ブックスタート事業、移動図書(各地区・NL40)、常設図書(村内10施設)、図書室まつり、図書室の本を使ったリサイクル工作教室など）	

### 2 自己評価

成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書室だより年7回、ふだい広報への本の紹介年10回により新着本の情報を村民にお知らせすることができた。</li> <li>・ブックスタート事業（1歳6ヶ月）のアンケートで読み聞かせ率が100%を達成することができた。</li> <li>・移動図書では各地区等を巡回し、図書室に来ること難しい地区の方や高齢の方々に本の貸出を行った。（利用人数385人貸出冊数1,213冊）</li> <li>・常設図書村内10施設へ貸出を行った。</li> <li>・図書購入は580冊で、内リクエスト購入は128冊であった。</li> <li>・県立図書館より新刊300冊程度の借入を行った。</li> </ul>	
課題	特記事項なし	
自己評価		A

### 3 点検評価委員の意見等

意見等	事業の目的及び内容に沿って実施されており、目標を達成している。 自己評価「A」は妥当であり、委員評価も「A」とする。	
委員評価		A

### 4 今後の取組及び方針

今後の取組	各世代の各ニーズに対応できるよう、リクエスト購入等を継続するほか、学校や子ども園の職員のニーズも確認する。	
方針		2

## 令和6年度点検評価シート（令和5年度事務事業分）

### 1 事業情報

事業番号	30	事業名	多様な学習機会の提供
教育大綱の位置付け	基本方針	Ⅲ 誰もが学べる多様な学習環境を充実する（社会教育・体育、歴史・芸術文化、男女共同参画）	
	主要施策	8 生きがいづくりと多様な学習活動の振興	
	取組	8-4 多様な学習機会の提供	
事業の目的・内容	【目的】	体験学習や各種講座等、村民の学びを継続的に深め、各々の活動へ取り入れることで、よりよい村づくりへとつなげることを目的とする。	
	【内容】	地球村ふだいまなび講座、家庭教育支援事業、放課後子ども教室及び青少年劇場等の開催。	

### 2 自己評価

成果	地球村ふだいまなび講座には約50人の参加があった。普代村に縁がある講師（岩手日報社編集局報道部 菊池健生氏）であったこともあり多数の参加者が集まった。南極での貴重な体験について学ぶことができた。
課題	特記事項なし
<b>自己評価</b>	
<b>A</b>	

### 3 点検評価委員の意見等

意見等	事業の目的及び内容に沿って実施されており、目標を達成している。自己評価「A」は妥当であり、委員評価も「A」とする。
<b>委員評価</b>	
<b>A</b>	

### 4 今後の取組及び方針

今後の取組	当該年度の実施内容は成果が大きかったが、多様な学習機会を提供できるよう出前講座等を活用する。
<b>方針</b>	
<b>2</b>	

## 令和6年度点検評価シート（令和5年度事務事業分）

### 1 事業情報

事業番号	31	事業名	多様な生涯スポーツの推進体制の整備
教育大綱の位置付け	基本方針	Ⅲ 誰もが学べる多様な学習環境を充実する（社会教育・体育、歴史・芸術文化、男女共同参画）	
	主要施策	9 多様な健康づくりとスポーツの振興	
	取組	9-1 多様な生涯スポーツの推進体制の整備	
事業の目的・内容	【目的】 生涯スポーツの推進体制を整え、多様なスポーツ活動の機会を提供し、健康の保持増進を図る。		
	【内容】 (1) スポーツ少年団に対する補助金の交付 (2) スポーツ推進委員の自主事業 (3) B&G 財団事業の実施		

### 2 自己評価

成果	<p>スポーツ少年団2団体（オーシャンズ 50,000 円、シャイニーズ 100,000 円）に対し補助金を交付し、各団体の育成と活動支援を行った。</p> <p>スポーツ推進委員の活動については、自主事業及び久慈地区スポーツ交流会を開催することができた。また、B&amp;G 財団事業は屋内グラウンドゴルフ大会を開催し、高齢者等の冬場の健康・体力づくりの推進を図ることができた。なお、久慈地区スポーツ少年団自主事業の担当年度であったが、交流大会（野球）が悪天候により、交流会（綱引き）がインフルエンザの流行に伴い実施できなかった。</p>	
課題	特記事項なし	
自己評価		A

### 3 点検評価委員の意見等

意見等	<p>事業の目的及び内容に沿って実施されており、目標を達成している。</p> <p>自己評価「A」は妥当であり、委員評価も「A」とする。</p>	
委員評価		A

### 4 今後の取組及び方針

今後の取組	<p>補助金交付などを今後も継続するとともに、活動内容への支援にも取り組む。</p>	
方針		2

## 令和6年度点検評価シート（令和5年度事務事業分）

### 1 事業情報

事業番号	32	事業名	体育関連施設の整備
教育大綱の位置付け	基本方針	Ⅲ 誰もが学べる多様な学習環境を充実する（社会教育・体育、歴史・芸術文化、男女共同参画）	
	主要施策	9 多様な健康づくりとスポーツの振興	
	取組	9-1 多様な生涯スポーツの推進体制の整備	
事業の目的・内容	【目的】	利用者ニーズに合わせた施設改善・改良等を行い、利用機会を拡大するとともに効率的な施設の活用を図る。	
	【内容】	体育施設の修繕など、施設整備の観点から健康づくりを振興する。	

### 2 自己評価

成果	社会体育館のバルコニー解体工事及び海洋センタープールの照明更新を行い、利用機会の拡大と効率的な施設の活用を図ることができた。
課題	特記事項なし
自己評価	
A	

### 3 点検評価委員の意見等

意見等	事業の目的及び内容に沿って実施されており、目標を達成している。自己評価「A」は妥当であり、委員評価も「A」とする。
委員評価	
A	

### 4 今後の取組及び方針

今後の取組	海洋センタープール上屋については、固定化するなどの対応を検討する。
方針	
2	

## 令和6年度点検評価シート（令和5年度事務事業分）

### 1 事業情報

事業番号	33	事業名	スポーツ教室等開催事業
教育大綱の位置付け	基本方針	Ⅲ 誰もが学べる多様な学習環境を充実する（社会教育・体育、歴史・芸術文化、男女共同参画）	
	主要施策	9 多様な健康づくりとスポーツの振興	
	取組	9-2 多様なスポーツ活動を通じた交流促進	
事業の目的・内容	【目的】	各種スポーツ教室等の開催により、子どもから高齢者までがスポーツに親しみ、楽しめる環境を整え、健康で活力ある地域づくりに寄与する。	
	【内容】	はまゆりスポーツクラブに業務を委託し、継続的・安定的にスポーツ教室等を開催する。	

### 2 自己評価

成果	<p>はまゆりスポーツクラブの運営会議を定期的を開催することにより、会員ニーズに応えた各種スポーツ教室を計画的に実施することができた。</p> <p>また、次年度の指導者確保等を協議し、事業継続に向けた体制構築を図ることができた。</p>		
課題	<p>年度途中からクラブマネージャーが不在となり、単発の教室や講習会が開催できなかつた。スポーツクラブ運営の安定化を図るため、早期の人材確保が必要である。</p>		
<table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>自己評価</td> <td><b>B</b></td> </tr> </table>		自己評価	<b>B</b>
自己評価	<b>B</b>		

### 3 点検評価委員の意見等

意見等	<p>事業の目的及び内容に沿って実施されており、概ね目標を達成している。</p> <p>課題となっていた人材確保は図られたことから、スポーツクラブの運営の早期安定化に努めていただきたい。</p> <p>自己評価「B」は妥当であり、委員評価も「B」とする。</p>		
<table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>委員評価</td> <td><b>B</b></td> </tr> </table>		委員評価	<b>B</b>
委員評価	<b>B</b>		

### 4 今後の取組及び方針

今後の取組	<p>スポーツクラブ運営の早期安定化を図り、健康で活力のある地域づくりに寄与できるように取り組んでいく。</p>		
<table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>方針</td> <td><b>3</b></td> </tr> </table>		方針	<b>3</b>
方針	<b>3</b>		



## 令和6年度点検評価シート（令和5年度事務事業分）

### 1 事業情報

事業番号	34	事業名	各種スポーツ大会の開催
教育大綱の位置付け	基本方針	Ⅲ 誰もが学べる多様な学習環境を充実する（社会教育・体育、歴史・芸術文化、男女共同参画）	
	主要施策	9 多様な健康づくりとスポーツの振興	
	取組	9-2 多様なスポーツ活動を通じた交流促進	
事業の目的・内容	【目的】 スポーツを普及し、健康増進と体力の向上を図り、生活を明るく豊かにすることを目的とする。		
	【内容】 ・教育長杯マレットゴルフ大会（6月3日） ・村長杯グラウンドゴルフ大会（7月9日） ・村長旗争奪地区対抗野球大会（8月14日） ・はまゆりマラソン大会（10月7日） ・B&G財団会長賞杯屋内グラウンドゴルフ大会（2月18日）		

### 2 自己評価

成果	教育長杯マレットゴルフ大会（6月）と村長旗争奪地区対抗野球大会（8月）は天候不良等で中止となったが、概ね計画通りに大会を開催することができ、様々な世代に対してスポーツを通じた交流の場を提供することができた。
課題	参加者が固定化されてきており、周知や募集の方法などを検討していく必要がある。
自己評価	
B	

### 3 点検評価委員の意見等

意見等	事業の目的及び内容に沿って実施されており、目標を達成している。 課題としている参加者の固定化は住民等の選択の結果であり、やむを得ないものと思われる。引き続き、各世代をターゲットにしたスポーツ大会の開催と住民等交流の場を提供いただきたい。 自己評価は「B」であるが、委員評価は「A」とする。
委員評価	
A	

### 4 今後の取組及び方針

今後の取組	現状のまま事業を継続し、生涯スポーツの機会を提供していく。
方針	
2	

## 令和6年度点検評価シート（令和5年度事務事業分）

### 1 事業情報

事業番号	35	事業名	歴史、文化の振興と継承
教育大綱の位置付け	基本方針	Ⅲ 誰もが学べる多様な学習環境を充実する（社会教育・体育、歴史・芸術文化、男女共同参画）	
	主要施策	10 伝統文化と芸術文化の振興	
	取組	10-1 歴史、文化の振興と継承	
事業の目的・内容	【目的】	郷土の歴史、文化を把握し、地域文化に対する認識を深め、先人から受け継がれてきた文化財を後世に伝え残すことを目的とする。	
	【内容】	文化財保護委員会議、鶴鳥神楽支援、チョウセンアカシジミの調査・保護及び七頭舞育成会の支援等。	

### 2 自己評価

成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夫婦杉の計測（5/27 文化財保護委員2人参加）</li> <li>・チョウセンアカシジミ成蝶観察会（7/7 普代小学校3学年17人、文化財保護委員3人参加）</li> <li>・チョウセンアカシジミ勉強会（7/7 文化財保護委員5人参加）</li> <li>・チョウセンアカシジミ産卵数調査（11/10 普代小学校3・4学年33人、文化財保護委員2人参加）</li> </ul>		
課題	特記事項なし		
<table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>自己評価</td> <td>A</td> </tr> </table>		自己評価	A
自己評価	A		

### 3 点検評価委員の意見等

意見等	<p>事業の目的及び内容に沿って実施されており、目標を達成している。</p> <p>チョウセンアカシジミの減少は気候変動等の環境の変化が影響しているものと思われる。他の地域を調査研究するなど、チョウセンアカシジミにとって住みやすい環境を選定し、生息地拡大に取り組んでいただきたい。</p> <p>自己評価「A」は妥当であり、委員評価も「A」とする。</p>		
<table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>委員評価</td> <td>A</td> </tr> </table>		委員評価	A
委員評価	A		

### 4 今後の取組及び方針

今後の取組	<p>チョウセンアカシジミの卵の数が減少している。新しい生息地を増やすとともに、保護活動の後継者育成に取り組むこととしたい。</p>		
<table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>方針</td> <td>2</td> </tr> </table>		方針	2
方針	2		

## 令和6年度点検評価シート（令和5年度事務事業分）

### 1 事業情報

事業番号	36	事業名	芸術文化活動の促進
教育大綱の位置付け	基本方針	Ⅲ 誰もが学べる多様な学習環境を充実する（社会教育・体育、歴史・芸術文化、男女共同参画）	
	主要施策	10 伝統文化と芸術文化の振興	
	取組	10-2 芸術文化活動の促進	
事業の目的・内容	【目的】	青少年の芸術文化活動への興味関心を高め、一人ひとりの感性を育てる。また、芸術文化団体の自主的活動の更なる促進と相互の連携を図り、芸術文化事業の普及を図ることを目的とする。	
	【内容】	青少年劇場の開催、普代村文化祭実行委員会及び普代村芸術文化団体活動補助金等の交付	

### 2 自己評価

成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年劇場（6/21 普代小学校4～6学年 34人、中学生 46人）</li> <li>・普代村文化祭（11/4～5）</li> </ul> <p>普代村文化祭では、例年課題となっている来場者確保のために、屋外での体験コーナーを拡充した。また、併催事業の岩手県埋蔵文化財展が大変好評で、遺跡発掘作業をしていた方が来場し、当時を懐かしんでいた。</p>	
課題	特記事項なし	
自己評価		A

### 3 点検評価委員の意見等

意見等	事業の目的及び内容に沿って実施されており、目標を達成している。自己評価「A」は妥当であり、委員評価も「A」とする。	
委員評価		A

### 4 今後の取組及び方針

今後の取組	雨天時の屋外イベント等の対応策を検討する。	
方針		2

令和6年度点検評価シート（令和5年度事務事業分）

1 事業情報

事業番号	37	事業名	男女共同参画事業
教育大綱の位置付け	基本方針	Ⅲ 誰もが学べる多様な学習環境を充実する（社会教育・体育、歴史・芸術文化、男女共同参画）	
	主要施策	1 1 男女共同参画社会の推進	
	取組	11-1 男女共同参画の意識醸成 11-2 女性の意見の積極的な反映 11-3 男女がともに働きやすい条件の整備	
事業の目的・内容	【目的】	県が認定した男女共同参画サポーターの自主活動の活性化に向けた支援を行い、地域への浸透を図ることを目的とする。	
	【内容】	普代村男女共同参画推進委員会議及び男女共同参画講演会の開催	

2 自己評価

成果	特記事項なし（平成29年度以降事業未実施）
課題	村の男女共同参画計画は未改定。（計画期間：平成22年度～26年度）

自己評価 **D**

3 点検評価委員の意見等

意見等	<p>教育大綱に掲げられている事業であるが、平成29年度以降未実施となっており、また計画の改定も行われていない。時代のニーズに対応した計画の改定に取り組み、改定後においては計画に沿った事業を着実に実施し、男女共同参画を推進いただきたい。</p> <p>自己評価「D」は妥当であり、委員評価も「D」とする。</p>
-----	--

委員評価 **D**

4 今後の取組及び方針

今後の取組	<p>他市町村の男女共同参画推進事業の取組状況等を情報収集するとともに、今年度末までに委員会議を開催し、今後の取組方針等を協議検討する。</p> <p>また、村の総合発展計画の策定年度が令和7年度となっていることから、新たな男女共同参画推進計画も同年度の策定を目指す。</p>
-------	--

方針 **3**

## IV その他

### 1 第2期普代村教育大綱（令和3年度～令和7年度）

#### 普代村の教育ビジョン

普代村は、地域と共にあり、地域の力を生かし、地域の核となる学校、そして地域も学校からも力をもらい、学校と地域が一体となって活力を生み出していく「普代型スクール・コミュニティ」の実現を目指す。

#### 子ども園・学校教育基本目標

「育ちあい 助けあい 認めあい 愛がいっぱい普代っ子」の育成

- 夢をもち、進んで学ぶ、元気な子ども
- 思いやりをもち、心をひらき、笑顔であいさつする子ども
- 自信をもち、たがいの良さを知り、共に生きる子ども

#### 生涯学習プランの推進目標

誰もがいつでも自由に学習機会を選択し、学ぶことができる体制づくりと村の大切な伝統や文化財の保存と活用を目指す。

- 家庭教育力の向上
- 子どもを育む地域教育力の向上
- 健康づくりとスポーツの推進
- 生きがいづくりと多様な学習活動の振興と支援
- 伝統文化の継承と芸術の振興
- 地域社会の変化に対応する学習機会の推進

#### 基本方針

第5次普代村 総合発展計画との整合を図るため、同計画における教育分野の基本目標「学ぶ喜びを村づくりにつなげよう」の3つの基本施策を、第2期普代村教育大綱の3つの基本方針としています。

##### 1) 健康な体・豊かな心を育む就学前教育を充実する（就学前教育）

就学前の子どもたちが健やかに育ち、社会との関わり方や生きる力の基礎を育むため、普代村認定こども園はまゆり子ども園での保育・教育内容の充実を図るとともに、家庭や地域との連携をさらに深めながら開かれた子育て環境づくりを推進します。

##### 2) 未来を担う子どもたちの学びの環境を充実する（学校等等教育）

幼児教育を含めた幼小中一貫教育の具体的な体制整備や小中一貫校の建設をはじめ、子ども一人ひとりへのきめ細かなサポート、社会状況の変化に応じたICT活用など時代の変化に対応した村全体の教育環境の向上に努めます。

##### 3) 誰もが学べる誰もが学べる多様な多様な学習環境を充実する（社会教育・体育、歴史・芸術文化、男女共同参画）

人口減少、少子高齢化、社会構造の急激な変化などの課題に的確に対応していくため、村民の知恵と力は貴重な村の財産であることから生涯学習を通じた主体的・自立的に地域づくりに関われる仕組みづくりの構築に向け、その推進に努めます。

## 施策の体系

基本方針	主要施策	取組
<p>I</p> <p>健康な体・豊かな心を育む 就学前教育を充実する（就学前教育）</p>	<p>1 保育・教育内容の充実</p>	<p>1-1 子どもの育ちの場の充実 1-2 幼小中連携強化の促進</p>
<p>II</p> <p>未来を担う子ども達の学びの環境を充実する（学校教育）</p>	<p>2 家庭や地域の教育力の向上</p>	<p>2-1 家庭教育の充実 2-2 地域と一体となった子育て支援</p>
	<p>3 創造的な子ども園、学校経営の推進</p>	<p>3-1 特色ある子ども園、学校経営の推進 3-2 明るく活力ある教育環境の構築 3-3 思いやりの心を育てる教育指導の充実</p>
	<p>4 保育士・教職員の資質の向上</p>	<p>4-1 幼少中連携の促進 4-2 指導力・授業力の向上</p>
	<p>5 特別支援教育の推進</p>	<p>5-1 特別に支援が執拗な幼児・児童・生徒への適切な支援 5-2 特別支援教育の充実</p>
	<p>6 児童生徒の健全な育成</p>	<p>6-1 育ちあう子どもの育成 6-2 助けあう子どもの育成 6-3 認めあう子どもの育成</p>
<p>III</p> <p>誰もが学べる多様な学習環境を充実する（社会教育・体育、歴史・芸術文化、男女共同参画）</p>	<p>7 社会教育と学校教育の連携推進</p>	<p>7-1 家庭教育力の向上 7-2 子どもを育む地域教育力の向上</p>
	<p>8 生きがいくくりと多様な学習活動の振興</p>	<p>8-1 生涯学習社会の推進体制の整備 8-2 社会教育団体の育成と活動支援 8-3 生涯学習推進体制の整備 8-4 多様な学習活動の提供</p>
	<p>9 多様な健康づくりとスポーツの振興</p>	<p>9-1 多様な生涯スポーツの推進体制の整備 9-2 多様なスポーツ活動を通じた交流促進</p>
	<p>10 伝統文化と芸術文化の振興</p>	<p>10-1 歴史、文化の振興と継承 10-2 芸術文化活動の促進</p>
	<p>11 男女共同参画社会の推進</p>	<p>11-1 男女共同参画の意識醸成 11-2 女性の意見の積極的な反映 11-3 男女がともに働きやすい条件の整備</p>

## 2 普代村教育委員会の点検・評価実施要領

### 普代村教育委員会の点検・評価実施要領

(趣旨)

第1条 この要領は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条に基づき、教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等（以下「点検及び評価等」という。）を実施し、効率的かつ効果的な教育行政の推進を図ることを目的とする。

(点検及び評価等の対象)

第2条 点検及び評価等は、毎年度策定する「普代村教育基本方針」に基づき実施する施策及び事業を対象とする。

(点検及び評価等の方法)

第3条 点検及び評価等は、毎年度実施し、前年度の施策及び事業の総括を行うとともに、課題や今後の取組みを明確化するものとする。

2 教育委員会は、施策及び事業に関し、自己評価を行うとともに、委員に説明を行う。委員はそれらを参考に委員会としての評価を行うものとする。

(点検評価委員)

第4条 教育に関する学識経験を有するものの知見を活用するため、点検評価委員（以下「委員」という。）の定数を3名以内とする。

2 点検評価委員は、教育に関し学識経験を有する者のうちから、教育委員会が委嘱する。

3 点検評価委員の任期は、3年とする。

(公表等)

第5条 教育委員会は、点検及び評価等を行った後、その結果を取りまとめた報告書を作成し、普代村議会に提出するとともに、村民に公表するものとする。

附 則

この要領は、平成21年4月1日から施行する。

この要領は、平成23年5月1日から施行する。

この要領は、平成27年4月1日から施行する。

#### 【自己評価の基準】

- A：概ね期待通りの成果が上がり、目標を達成できた。
- B：ほぼ目標を達成できたが、改善の余地がある。
- C：目標をあまり達成できなかったため、改善を要する。
- D：目標を達成できなかった。

#### 【今後の方針】

- 1：さらに重点化する
- 2：現状のまま継続する
- 3：見直しの上、継続する
- 4：事業の縮小・休止を検討する
- 5：終了・完了

